



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月10日

上場会社名 オカダアイオン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6294 URL <http://www.aiyon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 祐司
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門担当 (氏名) 前西 信男 TEL 06-6576-1281
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	5,678	21.8	539	25.5	567	31.2	379	27.2
2022年3月期第1四半期	4,660	16.9	429	16.7	432	17.0	298	22.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 636百万円 (65.7%) 2022年3月期第1四半期 384百万円 (72.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	47.39	47.17
2022年3月期第1四半期	37.31	37.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	25,974	12,924	49.7	1,609.03
2022年3月期	25,516	12,544	49.1	1,561.64

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 12,898百万円 2022年3月期 12,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	32.00	32.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	0.00	-	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,680	6.2	1,040	1.7	1,040	1.3	700	6.1	87.32
通期	21,500	5.9	2,000	12.9	2,000	10.6	1,340	12.6	167.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	8,378,700株	2022年3月期	8,378,700株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	362,315株	2022年3月期	362,315株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	8,016,385株	2022年3月期1Q	8,002,285株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済及び世界経済は、引き続き新型コロナウイルス感染防止と経済活動との両立が求められる中、感染者数の減少や行動制限の緩和等により持ち直し、緩やかな回復基調となりました。一方で、ロシア・ウクライナ問題に端を発した資源・エネルギー価格高騰と世界的インフレの加速、米国の金融引き締めとそれに伴う円安の進行等により企業の経営環境は大きく変化し、足許の新型コロナウイルス感染者数の再増加も相まって、先行き不透明感が高まっています。

このような環境のもと、当社グループは昨年からのスタートした長期ビジョン「VISION30」の方針のもと、今期からの3ヵ年計画、中期経営計画「ローリングプラン FY2022～FY2024」を策定し、足許の堅調な需要に対応した増産と生産性向上を軸にした生産体制強化を注力課題として取り組み、更なる持続的成長と企業価値向上を図っています。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高5,678百万円（前年同期比21.8%増）、営業利益539百万円（前年同期比25.5%増）、経常利益567百万円（前年同期比31.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益379百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

国内セグメントは、昨年からの解体環境アタッチメントを中心に高水準の受注残を維持しており、増産や商材の確保に注力してきた結果、売上高4,460百万円（前年同期比20.9%増）となりました。機種別には、主力の圧砕機は再開発やビル・工場等の建替等による解体需要が引き続き順調で売上高1,713百万円（前年同期比23.3%増）、油圧ブレーカも売上高208百万円（前年同期比13.5%増）と順調に伸ばすことが出来ました。一方で、つかみ機は金属スクラップ処理や木造解体、災害復興等の需要は引き続き堅調で、受注残は抱えているものの大型スクラップローダの納期ズレ等の影響もあり売上高223百万円（前年同期比17.6%減）となりました。また、グループ連携による販売強化を進めている林業機械は、昨年後半に投入した新商品「ハイブリッドバケット」の販売が寄与し売上高217百万円（前年同期比41.9%増）、ケーブルクレーン事業は大型案件のダム工事売上が寄与したことや再生可能エネルギーとして見直されている水力発電所の改修工事が引き続き底堅く売上高781百万円（前年同期比190.9%増）となりました。輸入商材の大型環境機械に関しては、納期の長期化や円安進行による輸入価格上昇が影響し78百万円（前年同期比76.9%減）に留まりました。営業所リニューアルにより体制整備を図ってきたアフタービジネスについては、原材料売上高が468百万円（前年同期比12.2%増）、修理売上高は227百万円（前年同期比20.3%増）となりました。セグメント利益は特にケーブルクレーン事業の利益寄与が大きく、412百万円（前年同期比51.7%増）と増益となりました。

海外セグメントは、売上高1,217百万円（前年同期比25.6%増）となりました。主力地域の北米では順調に経済活動が回復し売上高704百万円（前年同期比21.7%増）、欧州は好調な市況の中で販売代理店網の充実が寄与し売上高351百万円（前年同期比95.6%増）となる一方、アジア地域は船積み影響による納期ズレ等により売上高142百万円（前年同期比11.4%減）となりました。昨年からの引き続き海上運賃の値上げ影響を受けていることに加えて、昨年のアメリカ子会社の「給与保護プログラム(PPP)」の利益要因がなくなったこともあり、セグメント利益は138百万円（前年同期比14.4%減）と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は、25,974百万円（前連結会計年度末25,516百万円）となり457百万円増加しました。建設仮勘定が717百万円減少しましたが、土地が356百万円、建物及び構築物が261百万円、商品及び製品が222百万円、原材料及び貯蔵品が219百万円、現金及び預金が129百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は、13,049百万円（前連結会計年度末12,971百万円）となり77百万円増加しました。長期借入金が182百万円、賞与引当金が129百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が303百万円、短期借入金が256百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、12,924百万円（前連結会計年度末12,544百万円）となり379百万円増加しました。剰余金処分の配当金支払256百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益379百万円を計上したこと及び、為替換算調整勘定が247百万円増加したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現段階において2022年5月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の見直しを変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,601,602	3,730,735
受取手形及び売掛金	4,858,376	4,824,541
商品及び製品	3,753,046	3,975,540
仕掛品	324,039	353,331
原材料及び貯蔵品	3,311,883	3,531,055
その他	592,213	610,124
貸倒引当金	△1,201	△1,200
流動資産合計	16,439,960	17,024,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,199,241	3,460,243
機械装置及び運搬具(純額)	554,662	545,495
土地	2,537,068	2,893,236
建設仮勘定	983,855	266,518
リース資産(純額)	267,467	256,271
その他(純額)	33,931	34,302
有形固定資産合計	7,576,228	7,456,069
無形固定資産		
のれん	20,946	10,473
その他	428,358	428,857
無形固定資産合計	449,305	439,330
投資その他の資産		
投資有価証券	353,100	343,097
長期貸付金	230,000	230,000
繰延税金資産	377,700	361,745
その他	93,440	123,042
貸倒引当金	△3,273	△3,273
投資その他の資産合計	1,050,967	1,054,612
固定資産合計	9,076,501	8,950,012
資産合計	25,516,461	25,974,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,075,798	4,379,746
短期借入金	2,643,831	2,900,304
1年内返済予定の長期借入金	981,240	968,740
未払法人税等	389,069	300,994
賞与引当金	258,712	129,289
役員賞与引当金	58,915	787
株主優待引当金	55,448	61,111
その他	1,174,451	1,152,563
流動負債合計	9,637,468	9,893,536
固定負債		
長期借入金	2,564,884	2,382,074
退職給付に係る負債	550,227	562,846
その他	219,340	211,279
固定負債合計	3,334,451	3,156,199
負債合計	12,971,919	13,049,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,221,123	2,221,123
資本剰余金	2,275,697	2,275,697
利益剰余金	8,086,357	8,209,721
自己株式	△241,770	△241,770
株主資本合計	12,341,407	12,464,771
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,553	82,284
繰延ヘッジ損益	11,112	27,769
為替換算調整勘定	76,663	323,772
その他の包括利益累計額合計	177,329	433,826
新株予約権	25,805	25,805
純資産合計	12,544,542	12,924,403
負債純資産合計	25,516,461	25,974,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,660,403	5,678,352
売上原価	3,265,408	4,057,395
売上総利益	1,394,995	1,620,956
販売費及び一般管理費	965,409	1,081,862
営業利益	429,585	539,093
営業外収益		
受取利息	1,511	1,264
受取配当金	4,985	6,769
固定資産売却益	1,079	783
貸倒引当金戻入額	42	—
為替差益	190	44,347
持分法による投資利益	—	648
その他	6,595	7,363
営業外収益合計	14,404	61,176
営業外費用		
支払利息	9,542	10,742
固定資産除売却損	—	1,950
デリバティブ評価損	1,519	18,083
その他	404	1,824
営業外費用合計	11,467	32,600
経常利益	432,523	567,668
特別利益		
固定資産売却益	—	114,163
特別利益合計	—	114,163
税金等調整前四半期純利益	432,523	681,832
法人税等	133,943	301,943
四半期純利益	298,580	379,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	298,580	379,888

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	298,580	379,888
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,973	△7,268
繰延ヘッジ損益	△4,257	16,656
為替換算調整勘定	94,813	247,109
その他の包括利益合計	85,582	256,497
四半期包括利益	384,162	636,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	384,162	636,385
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,690,419	969,984	4,660,403	—	4,660,403
セグメント間の内部売上高又は 振替高	147,264	3,403	150,668	△150,668	—
計	3,837,683	973,388	4,811,071	△150,668	4,660,403
セグメント利益	272,237	162,153	434,390	△4,805	429,585

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△4,805千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去5,668千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,460,426	1,217,925	5,678,352	—	5,678,352
セグメント間の内部売上高又は 振替高	183,707	3,233	186,940	△186,940	—
計	4,644,134	1,221,159	5,865,293	△186,940	5,678,352
セグメント利益	412,866	138,876	551,742	△12,649	539,093

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△12,649千円の内訳は、のれんの償却額△10,473千円及びセグメント間取引消去△2,176千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。